（別紙）各公募課題の詳細について

第 15 期環境保健調査研究募集案内「２．公募課題」に示す各研究課題の詳細（研究の狙い、期待する成果及び必要な研究基盤・体制）は下表のとおりとする。応募にあたっては、各研究課題における研究の狙いや期待する成果を踏まえ、研究計画を立案することを期待する。

なお、重点プロジェクトには、複数の研究課題を一体的に推進し、研究成果の統合及び社会実装を促進する観点から、中課題ごとに研究課題間の連携及び成果統合を担う中課題代表者を配置する。

中課題代表者は重点プロジェクト全体の成果の最大化を図るため、課題間連携の促進及び研究成果統合に関する助言等を行うものとして機構が選任するものであり、公募対象ではない。また、研究費の配分を受ける研究代表者とは異なる。中課題代表者との連携、研究成果の統合及び課題間調整等に必要な経費については、各研究課題において必要に応じて研究費へ計上することを想定している。

中課題代表者には、以下の役割を期待する。

・研究課題間の連携促進
・研究成果の統合
・研究進捗管理及び課題間調整
・社会実装を見据えた助言及び関係機関との連携

中課題代表者（予定）

課題名	代表者（予定）
１－１　COPD スクリーニングによる早期発見･早期介入モデルの構築に関する研究	福永 興壱（慶應義塾大学）
１－２　外来及び在宅における呼吸リハビリテーションの標準プログラムの開発及び有効性に関する研究	玉木 彰（兵庫医科大学）

＜重点プロジェクト＞

COPD の早期発見・早期介入及び呼吸リハビリテーションによる重症化予防に関する調査研究

１－１　COPD スクリーニングによる早期発見・早期介入モデルの構築に関する研究

①COPD のハイリスク者抽出のための標準的なスクリーニング手法の開発

研究の狙い・期待する成果	想定する研究基盤・体制
既存のスクリーニング手法における感度、特異度、陽性的中率等の課題を踏まえ、COPD ハイリスク者を効率的かつ高精度に抽出するスクリーニング手法を開発・検証する。さらに、対象者、質問票、判定基準の最適化について検討を行うとともに、地方公共団体が行う COPD 健診事業への適用可能性を評価し、標準的スクリーニングモデルの確立を目指す。	・COPD 疫学研究基盤 ・質問票開発又は検証の実績 ・データ解析体制

②質問票による COPD 早期発見・早期介入が重症化予防及び医療費に与える効果の検証

研究の狙い・期待する成果	想定する研究基盤・体制
質問票を活用した COPD ハイリスク者の抽出、医療機関への受診勧奨及び治療介入を一体的に実施し、COPD の早期発見・早期介入が患者の受診率、診断率、増悪予防及び医療費に与える影響を明らかにするとともに、スクリーニング後の受診勧奨から診断・治療介入までを含む実効性の高い COPD の早期発見・早期介入モデルの構築を目指す。	・COPD ハイリスク者を対象とした質問票調査及び追跡が実施可能な体制 ・呼吸器診療との連携体制 ・医療経済評価の実施基盤

1－2　外来及び在宅における呼吸リハビリテーションの標準プログラムの開発及び有効性に関する研究

①外来における集団リハの標準プログラムの開発及び有効性の検証

研究の狙い・期待する成果	想定する研究基盤・体制
外来における集団呼吸リハビリテーションの標準プログラムを開発するとともに、個別リハビリテーションとの比較を通じて有効性、安全性、患者満足度、継続率及び実施効率等を複合的に検証する。さらに、医療機関における実装可能性を検証し、集団呼吸リハビリテーションの提供効率向上と普及に資する標準的実施モデルの確立を目指す。	・外来呼吸リハビリテーション提供施設 ・呼吸リハビリテーション研究実績 ・多職種による介入体制

②在宅におけるテレリハの標準プログラムの開発及び有効性の検証

研究の狙い・期待する成果	想定する研究基盤・体制
呼吸リハビリテーションへのアクセス向上を目的として、センターベースの呼吸リハビリテーションと同等の介入強度を志向したテレリハビリテーションの標準プログラムを開発し、その有効性、安全性、患者満足度、継続率及び実施効率性等を複合的に検証することで、呼吸リハビリテーションへのアクセス向上と継続的支援に資する普及可能な標準的実施モデルの確立を目指す。	・呼吸リハビリテーション提供施設 ・テレリハビリテーション又は遠隔医療の実施基盤 ・ICT を活用した呼吸リハビリテーション介入体制

③呼吸リハビリテーション標準プログラム検討のための COPD 患者の層別化に関する研究

研究の狙い・期待する成果	想定する研究基盤・体制
COPD 患者の呼吸機能、身体機能及びや呼吸サルコペニア等の関連病態の経時的変化を解析し、患者層別化に有用な因子を同定するとともに、患者特性に応じた呼吸リハビリテーション標準プログラム開発に必要な層別化手法の構築を目指す。	・COPD 患者コホート ・呼吸機能及び身体機能の評価体制 ・呼吸サルコペニア等の関連病態研究基盤

＜一般プロジェクト＞

２．ライフステージに応じたぜん息の重症化予防と包括的管理支援モデルの構築

①高齢者ぜん息のフレイルの影響評価と管理の最適化に関する研究

研究の狙い・期待する成果	想定する研究基盤・体制
高齢ぜん息患者のフレイル及び生活機能を客観的かつ多面的に評価し、ぜん息アウトカムに影響を与える因子を明らかにするとともに、実臨床で活用可能な管理指標及び包括的な高齢者ぜん息管理モデルの構築を目指す。	・高齢者ぜん息患者集団 ・フレイル評価体制 ・長期追跡研究基盤

②デジタル技術を活用した成人・高齢期のぜん息増悪予測と個別化予防支援に関する研究

研究の狙い・期待する成果	想定する研究基盤・体制
デジタル技術を活用して成人・高齢期ぜん息患者の増悪関連因子を把握し、増悪予測モデルを構築するとともに、個々の患者特性に応じた個別化予防支援手法を開発し、デジタル技術を活用した新たなぜん息管理モデルの構築を目指す。	・デジタルヘルス研究基盤 ・成人・高齢期ぜん息患者データ ・データサイエンス解析体制

③小児期から成人期への移行期ぜん息管理支援モデルの開発

研究の狙い・期待する成果	想定する研究基盤・体制
移行期ぜん息患者の治療継続及び自己管理に関する課題を明らかにするとともに、小児期から成人期への円滑な移行を支援する管理モデル及び継続的な診療・支援体制の構築を目指す。	・小児・成人診療連携体制 ・移行期患者集団 ・長期フォローアップ体制

以上